
写楽浮上せず

stepano

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

写楽浮上せず

【Nコード】

N3264Z

【作者名】

stepano

【あらすじ】

寛政四年暮れ、春朗は勝川派一門から除名された。生来転居癖のある春朗は居を八丁堀地蔵橋の長屋に移し唐辛子売りなどとして役者絵界への復帰の機会を狙う。

謎の絵師、東洲斎写楽の正体に迫る…

第一回

転居には慣れていない。ひどいときは三日で新しいところへ引越したこともあるくらいだ。根が苛ちかも知れない。気にいらないとすぐに飛び出していく。こう何回も転居癖が身についてくると引越しの要領も心得たものだ。絵具一式と寝具さえ詰め込めばこうして埃っぽくて騒がしい天神明町から朝露の弾く音まで聞こえてきそうな八丁堀の裏通りの長屋に落ち着く段取りだ。

春朗は部屋に戻って顔を拭きながら新居の爽快な朝の匂いを感じ取った。何が童子の智なくあどけなさを示しているか。この度の狩野派総帥の激しい怒りが今も鮮明に浮かぶ。それとその前の勝川派破門の原因となった経緯が同じように繋がってくるのだった。しかし、今は我が道を行くしかなかった。

早速唐辛子売りの支度に取り掛かり今日は両国橋あたりから油町へ抜けることに決める。銭がなけりゃ好きな浄瑠璃も見られないしそれに絵の励みも出来ない。自分に言い聞かせつつ戸口を出た。

最初の女房とも別れ今は独り暮らし。当分このままで余計な食い扶持の心配は一人分しなくてすむ。

朝靄のかかった長屋の路地に立つ商いの格好をした姿は十日前に除名され食い扶持を失った嘗ての勝川派一門を代表する役者絵師の姿とは誰も思えない風情である。

天秤棒を担ぎながら思う。自分には絵を描くことしか能がない。勝川派破門も狩野派追放も何の障りもない。絵を如何にして自分特有のものとして完成させていくか、それが常に求めるものであったからだ。絵は五つのときから彫っていたので体じゅうに絵に対する興味は染みついていてる。

歯を食い縛りながら両国近くの千石坂を上りやがてそこから下って

いって油町筋の間屋街へと進んで行った。

カタカタと戸を開ける音が響くなかを春朗の張りきった売り声が流れる。とおがらしー。とおがらしー。その声は朝陽のなかを弾むように反射する。

「ちよいとこれ高いよ」「いいかげんの辛さなのかい」「産地はどこなのさ」。乱れ飛ぶ女将さんの問いや使いの僕やらの喧騒にまみれながらぺこぺこしていると春朗にとっては初めて経験する世界なのでついこの間までの鬱積は姿を消してしまいそうであった。

こうやって唐辛子売りをするのも決して画道を捨てたわけではない。つい先だつての日光神廊の絵事再修理の随行、総帥狩野融川が描いた絵はまさに疎きに帰していた。童子の智なきあどけない様を示すといえ絵は第一に写実を基にするものだ。いくら裏に心を含んでいても評価に値しない。

その絵はひとりの童が竿を持って柿を落とす図を描いていた。しかし、竿の端は既に遙かに柿の所を過ぎていた。にもかかわらず童子は尚も足をつま立つ。果たして何の意味があるのかと指摘したところが融川に伝わり融川は怒って私を追放したのである。

今でも絵には先ず写実に忠実であることが画道の前提だと思つていゝるし何も狩野派を非難するつもりはない。流派には秩序が一番重要なことなのだと教えられただけのことだろう。その前の勝川派破門の件だつて結局は兄弟子春好との仲違いが原因のように思われてしようがない。

いずれにせよ再起を図る機会を待つただけだ。当分は雅号のない絵師として唐辛子売りをつづけていくしかない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3264z/>

写楽浮上せず

2011年12月11日10時46分発行